

Ⅲ 研究発表会

第 17 回 研 究 発 表 会

日 時 平成11年2月26日(金) 9:15~16:00

場 所 宮城県保健環境センター大会議室

主 催 宮城県保健環境センター

○印 発 表 者

座 長 沢田 和夫(大気部)

9:30~10:30

1 水道水質精度管理4年間の結果報告

環境衛生部 ○阿部 時男 葛岡 勝悦 加藤 謙一 浦山 清
佐々木 ひとえ 助野 典義

2 簡易給水施設等の受水槽内微生物検査結果

大崎保健所 ○氏家 雪乃 後藤 つね子 菅原 直子 佐々木 多栄子
加藤 玲子 梅津 孝司 宮城 英徳 大倉 靖
奈良岡 祥子 佐々木 久夫 藤原 公男

3 過去10年間における釜房ダム貯水池の水質変動要因

水質部 ○渡部 正弘 三沢 松子 小葉松 英行 八木 純

4 蔵王火山周辺の水質特性

水質部 ○清野 茂 中村 朋之 八木 純 小笠原 久夫
瀬峰病院 粟野 健
生活衛生課 金野 由之 濱名 徹
仙南保健所 安藤 伸一

5 カキ殻を用いた水路直接浄化の試み

水質部 ○三沢 松子 清野 茂 八木 純

座 長 八木 純(水質部)

10:30~11:18

6 全県一斉酸性雨調査にみる酸性雨の降水特性

大気部 ○仁平 明 榎野 光永 中村 栄一 佐久間 隆 木戸 一博
沢田 和夫

7 平成10年度自動車交通影響調査と同時に実施した騒音測定結果の相関関係

—多賀城市・国道45号線沿道—

大気部 ○榎野 光永 佐久間 隆 星川 大介 木戸 一博 小野 研一
鈴木 滋 中村 栄一 仁平 明 百川 滉 沢田 和夫

8 NO₂メッシュ濃度予測法の検討

情報管理部 ○高橋 正人

9 イオン交換法による放射性ストロンチウム分析の検討

原子力センター ○庄子 克巳 石川 陽一 渡辺 丈夫
栗原保健所 高橋 正弘

座 長 伊藤 孝一(理化学部)

11:18~11:54

10 ダイオキシン類の大気への揮散に関する検討

大気部 ○鈴木 滋
新潟県保健環境科学研究所 村山 等
千葉県廃棄物情報技術センター 半野 勝正
茨城県公害技術センター 宮崎 雅弘
国立環境研究所 大高 広明 橋本 俊次 伊藤 裕康 森田 昌敏

11 底質中におけるダイオキシン類分析の検討

水質部 ○中村 朋之
東京都環境科学研究所 佐々木 裕子

岐阜県保健環境研究所 村瀬 秀也
 千葉県環境研究所 内藤 季和
 長崎県衛生公害研究所 植野 康成
 国立環境研究所 橋本 俊次 伊藤 裕康

- 12 宮城県沿岸域の巻貝類イボニシのインボセックスについて
 大 気 部 ○佐久間 隆 鈴木 滋 木戸 一博 小野 研一 沢田 和夫
 国立環境研究所 堀口 敏宏

— 昼 食 ・ 休 憩 —

座 長 星野 和行 (情報管理部) 13:10~13:58

- 13 食肉製品中の亜硝酸根検査について
 塩 釜 保 健 所 ○郷右近 順子 荒木 真由美 伏谷 均
- 14 シジミ中におけるCNPおよびその代替除草剤の一斉分析法の検討
 理 化 学 部 ○山口 剛史 新目 眞弓 佐藤 勤 細矢 義隆 伊藤 孝一
- 15 銀鮭中における有機スズ化合物測定法の検討
 理 化 学 部 ○山口 剛史 佐藤 勤 伊藤 孝一
- 16 揮発性有機化合物の多成分一斉分析法の検討
 水 質 部 ○中村 朋之 渡部 正弘 阿部 公恵 吾妻 正道 八木 純

座 長 助野 典義 (環境衛生部) 13:58~14:58

- 17 わが国で発生したSRSVによると推定される事例の症状及び潜伏時間の解析の試み
 情 報 管 理 部 ○阿部 和男 白取 博志 佐藤 真貴子 星野 和行
 山本 仁
- 18 宮城県における神経芽細胞種1歳6か月児マス・スクリーニング (第4報)
 微 生 物 部 ○泉澤 淳子 氏家 恭子 佐藤 由紀 白石 廣行
 東北大学大学院医学系研究科 林 富
 東北大学加齢医学研究所 土屋 滋
- 19 日本脳炎中和抗体保有状況からみたワクチンの効果
 微 生 物 部 ○沖村 容子 野池 道子 後藤 郁夫 秋山 和夫
 白石 廣行
- 20 健康人における小型球形ウイルスの侵淫状況
 微 生 物 部 ○野池 道子 後藤 郁夫 沖村 容子 秋山 和夫
 白石 廣行
 国立感染症研究所 名取 克郎 武田 直和
- 21 インフルエンザウイルス抗体保有状況
 微 生 物 部 ○後藤 郁夫 野池 道子 沖村 容子 秋山 和夫
 白石 廣行

— 休 憩 —

座 長 山本 仁 (情報管理部) 15:10~15:58

- 22 県内で発生したnon-O157によるEHEC感染
 微 生 物 部 ○伊藤 友美 有田 富和 斎藤 紀行 御代田 恭子
 白石 廣行
- 23 低VT2産生性O157が分離された家族内感染
 微 生 物 部 ○御代田 恭子 伊藤 友美 有田 富和 斎藤 紀行
 白石 廣行
- 24 動物由来腸球菌の薬剤耐性調査
 微 生 物 部 ○斎藤 紀行 伊藤 友美 御代田 恭子 白石 廣行
- 25 結核菌の迅速診断
 微 生 物 部 ○有田 富和 斎藤 紀行 秋山 和夫 白石 廣行

編集後記

仙台に住んで、しばらくになるが、今年の夏ほど強烈な暑さを経験したことはなかった。

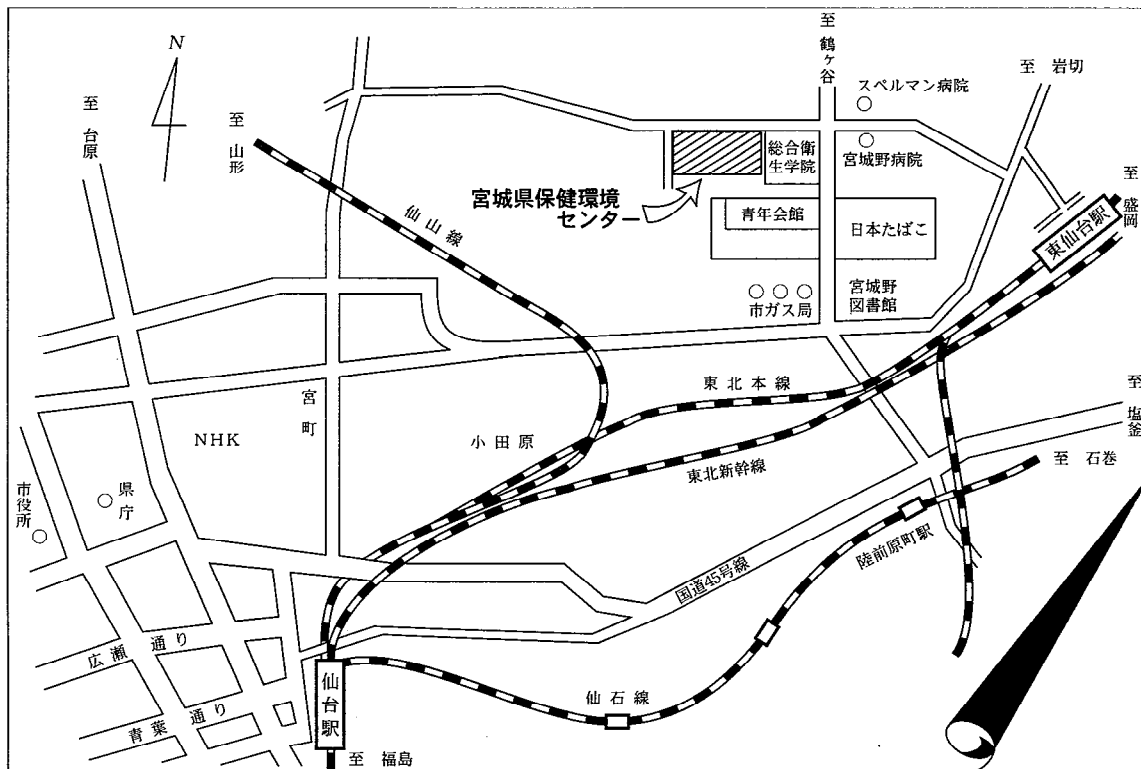
秋の紅葉は、さぞかし見事なものになるだろうと今から楽しみである。

さて、行政改革の一環として地方機関の組織の見直しが検討されている。保健環境センターも例外ではない。果たしてどのような体制作りを行えば、本来の機能をより発揮できるのか、なかなか簡単には答えがみつかりそうにない。

編集委員

- | | |
|--------------|--------|
| 渡辺 丈夫 (委員長) | 畠山 敬 |
| 阿部 和男 (副委員長) | 菊地 秀夫 |
| 高橋 満郎 | 加藤 謙一 |
| 佐々木 圭子 | 佐久間 隆 |
| 佐藤 真貴子 | 水谷 登志喜 |
| 高橋 正人 | |

宮城県保健環境センター



宮城県保健環境センター年報 第17号
(平成10年度)

印刷 平成11年11月

編集発行 宮城県保健環境センター

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町四丁目7番2号

電話 022-257-7181(代)
